

2023年度

事業報告書

事業報告の附属明細書

公益財団法人かわさき市民活動センター

目 次

事業報告書

1 当法人の現況に関する事項	1
(1) 事業の経過及びその成果	1
(2) 直前 3 事業年度の財産及び損益の状況	1
(3) 主要な事業内容	2
(4) 重要な契約に関する事項	2
(5) 職員に関する事項	2
(6) 役員会等に関する事項	3～4
2 役員等に関する事項	5
(1) 理事	5
(2) 監事	5
(3) 評議員	5～6
(4) 退任した役員	6
(5) 役員等の報酬	6

事業報告の附属明細書

I 役員その他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況…	7
II 事業の実施状況について補足すべき重要事項【事業の概要】…	7
1 市民活動推進事業	7～18
2 青少年健全育成事業	19～46
3 法人の運営	47

事業報告書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

はじめに

当財団の使命は、「川崎市における市民活動支援の中間支援組織として市民相互の連携を図りながら市民活動の活性化を促進するとともに、青少年の心身の健全な育成を図るため、青少年事業の推進及び地域組織への支援を行い、もって住みよい地域社会の確立に寄与する」ことが定款第3条に定められています。

2023年度においても「市民活動推進事業」及び「青少年健全育成事業」を2本の柱として、地域の関係団体や関係機関と連携した事業展開を図りました。

「市民活動推進事業」では、市民活動が活発になり市民創発を促すことを意識し、情報発信、講座、交流、専門相談、助成金等の各事業の連携と相乗効果を目指しました。加えて、全市・全領域の市民活動支援組織として、市民活動団体等が直面した課題への対応、新たな支援の検討と実践に取り組みました。また、施設運営においても利用者にとって安心・安全な施設となるようさまざまな対策を講じました。

「青少年健全育成事業」では、子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所となるよう、多彩な事業を実施しました。2019年度から5年間の指定管理者として、こども文化センター53館及びわくわくプラザ102校について仕様に即した安定した運営を行うとともに、こども文化センターの団体利用の拡充に向けた施設利用の推進などを含め事業を進めました。また、第5期（令和6年4月から）の指定管理者募集の公示が8月に行われ、これに対し、21グループ（こども文化センター53館・わくわくプラザ104施設）へ応募しました。そして、選定の結果、第5期については15グループ（こども文化センター41館・わくわくプラザ76施設）を当財団が受託することとなりました。

また、法人として、確実な組織運営と健全な財政運営に基づいた経営を進めながら、公益目的事業の推進を図ってきました。

1 当法人の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

(単位:千円)

事業別【経常収益】	予 算 現 額	執 行 済 額	執 行 率
市民活動推進事業	95,447	92,116	96.51%
青少年健全育成事業	3,459,142	3,478,518	100.56%

※千円未満は四捨五入

(2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位:千円)

区 分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (当事業年度)
経 常 収 益	3,218,700	3,394,058	3,570,874	3,621,550
当期経常増減額	4,214	17,399	△22,444	△38,576
正味財産期末残高	273,618	291,596	269,072	230,496

※千円未満は四捨五入

(3) 主要な事業内容

事業	主 要 な 事 業 の 内 容
市民活動推進事業	・市民活動に関する情報の収集・提供及び啓発事業 ・市民活動に関する調査・研究事業 ・市民活動に関する人材育成及び相談事業 ・市民活動の促進・支援事業 ・関係機関・関係団体等との連携 ・その他目的を達成するために必要な事業 (理事会又は評議員会で決議する事業)
青少年健全育成事業	・青少年の健全育成に関する事業 ・青少年施設の管理運営の受託 ・関係機関・関係団体等との連携 ・その他目的を達成するために必要な事業 (理事会又は評議員会で決議する事業)

(4) 重要な契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約金額	契約期間	契約の概要
2023年4月1日	川崎市	合計 2,992,850,323 円	2023年4月1日から	川崎市こども文化センター指定管理業務の受託に伴う年度協定書
変更契約： 2024年2月9日		合計 2,997,128,921 円	2024年3月31日まで	

(5) 職員に関する事項**(2024年3月31日現在)**

職 名 等	氏 名	就任年月日	担 当 事 務	備 考
事務局 長	亀田 俊夫	2020.4.1	事務局の総括	重要な使用人
総務課 長	大野 秀人	2022.4.1	課の総括	
市民活動推進課長	須藤 純子	2022.4.1	〃	
青少年事業課長	宮舘 政幸	2023.4.1	〃	
青少年事業課主幹	島 忍	2010.10.1	エリアマネージャーの総括	
その他の職員（派遣職員を除く。）				2,021 人

(6) 役員会等に関する事項

ア 理事会

会 議 名	開 催 年 月 日	議 題	会議の結果
第1回	2023年 5月30日	議案（決議事項） 議案第1号 規則の改正について 議案第2号 2022年度事業報告及び決算 議案第3号 2023年度第2回評議員会（定時評議員会）の開催 報告事項 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告 報告第1号 年度協定書の締結 報告第2号 2022年度第2回及び第3回資金運用委員会の結果報告	可決 可決 可決 了承 了承
第2回	2023年 11月22日	議案（決議事項） 議案第1号 2023年度第3回評議員会の開催 議案第2号 理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦 専決処分（決議事項） 議案第1号 理事による利益相反取引について 報告事項 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告 報告第1号 2023年度上半期の事業等 報告第2号 川崎市こども文化センター指定管理者への応募及び選定結果について	可決 可決 可決 了承 了承
第3回	2024年 3月14日	議案（決議事項） 議案第1号 規則の改正 議案第2号 2024年度事業計画書 議案第3号 2024年度収支予算書等 議案第4号 役員等賠償責任保険契約について 議案第5号 2024年度第1回評議員会の開催 報告事項 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告 報告第1号 2023年度第1回及び第2回資金運用委員会の結果報告 報告第2号 年度協定書の一部を変更する協定の締結 報告第3号 職員採用選考及び昇任試験の結果（青少年事業課）	可決 可決 可決 可決 可決 了承 了承 了承

イ 評議員会

会 議 名	開催年月日	議 題	会議の結果
第1回	2023年 4月13日	報告事項 報告第1号 規則の改正 報告第2号 2023年度事業計画書 報告第3号 2023年度収支予算書等 報告第4号 役員等賠償責任保険契約について 報告第5号 2022年度第1回資金運用委員会の結果報告 報告第6号 職員採用選考及び昇任試験の結果通知事項	了承 了承 了承 了承 了承 了承
第2回	2023年 6月19日	議案（決議事項） 議案第1号 規則の改正について (役員及び評議員の報酬並びに費用の額の決定及びその規則の改廃) 議案第2号 2022年度事業報告及び決算について 報告事項 報告第1号 規則の改正について 報告第2号 年度協定書の締結 報告第3号 2022年度第2回及び第3回資金運用委員会の結果報告	可決 可決 了承 了承 了承
第3回	2023年 12月11日	議案（決議事項） 議案第1号 理事の補欠選任 報告事項 報告第1号 2023年度上半期の事業等 報告第2号 川崎市こども文化センター指定管理者への応募及び選定結果について	可決 了承 了承

2 役員等に関する事項

(2024年3月31日現在)

(1) 理事

役 職 名	氏 名	任 期	常 勤 非常勤	報酬	他 の 法 人 等 の 代 表 状 況 等
代表理事 (理事長)	小倉 敬子	2022.6.23 から 2024.6 定時評議 員会の終結の時ま で	常 勤	有	文化パートナーズかわさき 代 表
副理事長	鈴木 眞智子	〃	非常勤	〃	特 定 非 営 利 活 動 法 人 水 ・ 防 災 機 構 理 事 長
副理事長	福田 武雄	〃	〃	〃	川 崎 市 青 少 年 育 成 連 盟 副 理 事 長
代表理事 (常務理事)	安藤 勲	〃	常 勤	〃	元 川 崎 市 議 会 局 長
理 事	増田 実	2023.12.11 から 2024.6 定時評議員 会の終結の時まで	非常勤	〃	公益財団法人川崎市生涯学習財団 常 務 理 事 (事 務 局 長 兼 務)
〃	浦野 一吉	2022.6.23 から 2024.6 定時評議員 会の終結の時まで	〃	〃	川崎市全町内会連合会 理事
〃	高田 智幸	〃	〃	〃	社 会 福 祉 法 人 川 崎 市 社 会 福 祉 協 議 会 事 務 局 長
〃	舘 勇 紀	〃	〃	〃	川崎市 P T A 連絡協議会 会長
〃	田中 和代	〃	〃	〃	参画 はぐくみ工房 代表
〃	蠟山 優二	〃	〃	〃	川崎市レクリエーション連盟 副 会 長

(2) 監事

役 職 名	氏 名	任 期	常 勤 非常勤	報酬	他 の 法 人 等 の 代 表 状 況 等
監 事	池野 光弘	2022.6.23 ～ 2024.6 定時評議 員会の終結の時 まで	非常勤	有	税 理 士
〃	岩森 耕太郎	〃	〃	〃	特定非営利活動法人 かわさき MOVEARTOO 隊 理事長

(3) 評議員

役 職 名	氏 名	任 期	常 勤 非常勤	報酬	他 の 法 人 等 の 代 表 状 況 等
評 議 員	齊藤 準	2022.6.23 から 2026.6 定時評議 員会の終結の時 まで	非常勤	有	特定非営利活動法人 川崎市 視覚障害者福祉協会 理事
〃	阪本 智子	〃	〃	〃	元 川 崎 市 立 小 学 校 校 長
〃	菅原 陽子	〃	〃	〃	夏 菟 太 鼓 代 表
〃	鈴木 浩之	〃	〃	〃	元 川 崎 市 立 中 学 校 校 長
〃	竹井 斎	〃	〃	〃	特 定 非 営 利 活 動 法 人 アクト川崎 理 事
〃	橘 貴子	〃	〃	〃	合 同 会 社 橘 代 表

評 議 員	永津 英二郎	2022.6.23 から 2026.6 定時評議 員会の終結の時 まで	非常勤	有	税 理 士
〃	番匠 一雅	〃	〃	〃	田園調布学園大学教授
〃	前田 成東	〃	〃	〃	東海大学教授

(4) 退任した役員

氏 名	退 任 時 の 地 位	退 任 日	退 任 理 由
岩 瀬 正 人	理 事	2023年6月16日	辞 任
谷 島 義 雄	評 議 員	2024年1月1日	死 亡

(5) 役員等の報酬

区 分	人 数	報 酬 の 総 額	備 考
理 事	10人	7,604 千円	常勤及び非常勤
監 事	2人	120 千円	非 常 勤
評 議 員	10人	216 千円	非 常 勤
合 計	22人	7,940 千円	

※理事、監事及び評議員の報酬額は、「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規則」において定められている。

※評議員の報酬の限度額は、定款第15条において、毎年度総額30万円を超えないものとされている。

事業報告の附属明細書 << 2023年度事業報告 >>
(2023年4月1日～2024年3月31日)

I 役員の他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況

 役員の主な他の法人等の代表状況等については、5頁の「2 役員等に関する事項」のとおりです。

II 事業の実施状況について補足すべき重要事項【事業の概要】

1 市民活動推進事業

 全市・全領域の市民活動支援組織として、これまでの実績と知見を活かし、市民活動団体への支援に取り組みました。2023年度の主な取組結果は、次のとおりです。

(1) 活動拠点施設運営事業

 今年度の利用登録団体数は、新規 54 団体、計 901 団体でした。

施 設 ・ 設 備 名	2018 年度 (コロナ禍前)	2021 年度	2022 年度	2023 年度	前年度比較 (増減)
会 議 室 A	589 団体	428 団体	550 団体	465 団体	△85 団体
	6,200 人	3,378 人	4,321 人	3,790 人	△531 人
会 議 室 B	532 団体	429 団体	440 団体	440 団体	0 団体
	4,969 人	3,137 人	3,193 人	3,119 人	△74 人
印 刷 室	573 団体	365 団体	446 団体	655 団体	209 団体
	1,163 人	615 人	765 人	1,065 人	300 人
フリースペース他	4,690 団体	1,616 団体	2,185 団体	2,203 団体	18 団体
	20,091 人	6,437 人	8,495 人	9,119 人	624 人
パソコン (2 台)	427 団体	249 団体	315 団体	307 団体	△8 団体
	715 人	297 人	361 人	363 人	2 人
ロッカー・大 (90 台)	89 台	90 台	85 台	83 台	△2 台
ロッカー・小 (9 台)	8 台	9 台	9 台	9 台	0 台
レターケース (54 台)	43 台	48 台	46 台	45 台	△1 台
施設・設備等利用合計	6,811 団体 33,138 人	3,087 団体 13,864 人	3,936 団体 17,135 人	4,070 団体 17,456 人	134 団体 321 人

 新型コロナの感染症法上の位置付けが 5 類に移行した 5 月 8 日から、会議室およびフリースペースに設置していた消毒液やアクリルパーテーションを撤去し、利用者がより打合せなどに集中できる環境に戻しました。

 市民活動ブース利用団体

ブース 1	ブース 2	ブース 3	ブース 4	ブース 5
(一社) ICERC Japan	NPO 法人ダンス ラボラトリー	Women's body labo	(一社) ランドヌ 東京	かわさきこども 食堂ネットワーク

(2) 情報提供・啓発事業

ア 情報紙「ナンバーゼロ」の発行

市民活動団体に有益な情報を提供するため、季刊2,500部を発行し、関係団体、市内公共機関等に配布しました。また、希望があった利用登録団体へ郵送しました。

毎号、市民活動にまつわる旬の話題を紹介する「トピック」のほか、最新情報を掲載し市民活動団体の運営に役立つ内容となっています。また、表紙は毎回「U-50（アンダー50）」で紹介した若手エースのカバーストーリーを掲載し、好評を得ています。



ナンバーゼロ秋号

イ ボランティア募集情報の発信

市内のボランティア募集情報について川崎市社会福祉協議会と共同で調査し、90団体・施設の募集情報をポータルサイト「応援ナビかわさき」に掲載しました。また、夏休み期間中の主に生徒・学生を対象とした39団体・施設の情報を、6月15日から9月15日まで同ポータルサイトに掲載しました。

ウ 神奈川新聞へのコラム「市民発」の連載

市民の目線で市民活動団体を紹介することを目的に、24人の市民記者の取材・執筆による記事を、神奈川新聞の協力を得て「市民発 地域をつくる人・活動」と題したコラムを、毎月第2・4木曜日に24回掲載しました。

エ ラジオ出演

かわさきFMで毎月第3火曜日に放送している「かわさき ホット☆スタジオ」にセンター職員が出演し、市民活動推進事業について宣伝および情報提供を行いました。



市民発・紙面

オ 市民活動ポータルサイト「応援ナビかわさき」の運営

川崎市市内における市民活動のポータルサイトとして役立つよう、イベント・講座、ボランティア募集、団体情報、民間助成金等市民活動に関する最新情報を迅速に掲載するとともに、コンテンツの充実に努めました。

また、新着情報などをまとめたメールマガジンをメルマガ会員（336人）あてに配信しました。

カ 市民活動推進事業ウェブサイトの運営

市民活動推進事業の紹介、施設の利用状況を随時更新したほか、オリジナルコンテンツ「U-50（アンダー50）」では、市内の若手エースを6人紹介しました。

(3) 活動促進事業

ア ごえん楽市の開催

市民に広く市民活動を伝える場、団体の交流の場として、4年ぶりに中原市民館全館及びかわさき市民活動センターを会場に、11月18日（土）に開催しました。当日は64団体（新規21団体）が出展し、約1,600人の来場がありました。

2023年度は、出展団体が主体的に関わり、センターと一体となって企画や準備、当日の運営を担いました。また、主催者企画として専修大学問題解決型チャレンジプログラムの学生によるゲームコーナーのほか、オンラインボッチャ体験、作業所製品の販売、「川崎市内7区のSDCの取り組み」パネル展示などを実施しました。



閉会式後の出展団体による集合写真

イ ごえんカフェの開催

団体や企業などが分野を越えて交流し、新たな協働・連携の芽が生まれる場として、センターフリースペースで2回開催しました。第1回は7月24日（月）に開催し14団体22人の参加があり、第2回は2月17日（土）に開催し10団体20人の参加がありました。今年度はゲストスピーカーを招き、冒頭で事例紹介などを行いました。

ウ ミニカフェの開催

川崎市内にあるコミュニティスペースを会場に、その場所の地域での役割などを知り、参加者同士の情報交換もできる交流会として、以下のとおり開催しました。

回	開催日	地域	会場	参加者数
1	9/28	幸区	親子カフェ「幸盛 HOUSE」	7人
2	10/7	麻生区	麻生市民交流館やまゆり	12人
3	12/12	高津区	コミュニティカフェ COCODE	6人
4	1/25	川崎区	東海道かわさき宿交流館	6人
5	2/22	多摩区	白いハコ	12人

エ つながるマルシェの開催

市民活動団体などが市民と交流し活動をPRする「つながるマルシェ」を、8月26日（土）と3月23日（土）の2回、ららテラス 武蔵小杉（施設外周部）で開催しました。両日とも各8団体が出展し、体験ワークショップや販売を行いました。親子連れなどの来場者で、両日とも1,200人と賑わいました。



つながるマルシェ

オ 市民活動メッセージボードの設置

団体の広報活動を支援することを目的に、団体が各種情報を月ごとに掲示できるメッセージボード（パネル）をフリースペースに設置し、21団体が活動紹介やイベント告知などの掲示を行いました。

カ 大学と市民活動団体との連携・協働の支援

専修大学ネットワーク情報学部で学生たちが市民活動団体（9団体）の広報媒体（リーフレット、動画、HP）を団体と一緒に制作する取組を支援しました。

2月5日（月）には、学生がその成果を発表する「かわさきNPO映像交流会」を、オンラインで開催しました。

（4）研修・人材育成事業

ア パワーアップセミナーの開催

市民活動団体の課題解決とスキルアップに係るテーマで全10回開催しました。受講者アンケートによると、各講座への満足度は平均93.8%となりました。各回の概要については【14頁：別表1①】【14頁：別表1②】【15頁：別表1③】に記載しています。

イ 市民記者ブラッシュアップ講座の開催

市民記者を対象に力量を高めるセミナーを3月13日（水）に開催し、現役記者10人が受講しました。神奈川新聞報道部の田崎基記者を講師に、市民記者が手掛けた記事を教材に記事の熟度を高める要点を講義しました。

（5）相談事業

ア 職員による市民活動相談の実施

ボランティア活動を始めたいという相談、団体の設立や運営に関する相談、企業からの社会貢献活動の相談など、市民活動全般に関わる相談をセンター職員が対応し、年間で72件の相談がありました。

イ 専門相談の実施

士業のワンストップ体制による専門相談の実績は以下のとおりです。

区 分	件 数	共 催
会 計 相 談	2 件	東 京 地 方 税 理 士 会
法 務 相 談	1 件	よ ろ ず 相 談 会 （ 行 政 書 士 に よ る 任 意 団 体 ）
	0 件	神 奈 川 青 年 司 法 書 士 協 議 会
法 律 相 談	2 件	かわさきリーガルサポートひまわり（弁護士による任意団体）

5 件のうちオンライン相談は 1 件ありました。

(6) 連絡・調整事業

ア 市・区の市民活動支援担当者との定期的情報交換会等の開催

市民文化局市民活動推進課との定例会を 1 回開催しました。

イ 中間支援ネットワーク会議の開催

市内の市民活動に係る中間支援ネットワーク会議を、6 月 8 日（木）にすくらむ 21 で、3 月 15 日（金）は川崎市国際交流センターで開催し、参加した機関同士による情報交換と協働・連携に向けての話し合いを行いました。

この会議をきっかけに、センター職員による X（旧 Twitter）の講習会と各団体での立ち上げ等の支援を行いました。

ウ 川崎市社会福祉協議会との連絡調整会議の開催

川崎市社会福祉協議会・ボランティア活動振興センターとの連絡調整会議を 4 月 11 日に開催し、事業計画についての情報交換及び共催事業に関する調整等を行いました。

(7) 職員等派遣事業

各団体の要請に基づき、役員 11 回、職員 24 回を講師等として派遣しました。派遣先の主催者や対象者等については【15 頁：別表 2（ア）】【16 頁：別表 2（イ）】に記載しています。

(8) かわさき市民公益活動助成金運営事業

2023 年度かわさき市民公益活動助成金運営事業に関わる審査等の実施状況は、次のとおりです。

募 集 期 間	・ 2022 年 11 月 18 日～2023 年 1 月 20 日 ※ステップアップ 30 助成およびステップアップ 100・200 助成（初回） ・ 2022 年 11 月 18 日～2023 年 3 月 3 日 ※スタートアップ助成およびステップアップ 100・200 助成（2～3 回目）
審 査 委 員 会	第一次審査（書類審査） 3 月 7 日、3 月 10 日 第二次審査（公開プレゼン） 5 月 14 日

審 査 結 果	・スタートアップ助成 申請 32 団体 交付 27 団体 交付金額 2,617,609 円
	・ステップアップ助成（30・100・200） 申請 17 団体 交付 17 団体 交付金額 8,242,577 円
交 付 総 額	10,860,186 円 (内訳＝川崎市：7,535,186 円・河川財団：3,325,000 円)

【追加募集】

募 集 期 間	・2023 年 6 月 1 日～6 月 30 日
審 査 委 員 会	第一次審査（書類審査） 7 月 20 日 第二次審査（公開プレゼン） 8 月 19 日
審 査 結 果	・スタートアップ助成 申請 16 団体 交付 11 団体 交付金額 995,722 円
	・ステップアップ助成（30・100・200） 申請 14 団体 交付 8 団体 交付金額 5,047,000 円
交 付 総 額	6,042,722 円

また、2022 年度助成金交付団体の公開事業報告会を 4 月 9 日（日）に実施しました。

※組織基盤強化助成の事業報告のみ 6 月 18 日（日）に組織基盤強化フォーラムとして実施。

さらに、今後の助成金制度の改善等に活かすため、2019 年～23 年度までの 5 年間に助成金を交付した 181 団体に対し、助成金制度に関する満足度や要望、意見などについてのアンケート調査を行い、40 団体から回答を得ました。

（9）川崎市からの受託事業

ア 川崎市市民活動（ボランティア活動）補償制度の窓口業務

川崎市市民活動（ボランティア活動）補償制度の窓口業務を受託しました。2023 年度の状況は、次のとおりです。

申請件数（対象）	支 払 済 件 数	支 払 済 額	前年度申請に係る支払済額
26 件（25）	10 件	362,300 円	1,090,980 円

イ 川崎市協働・連携ポータルサイト「つなぐっと KAWASAKI」管理・運営事業

川崎市から、協働・連携ポータルサイト「つなぐっと KAWASAKI」のコンテンツ情報の拡充などを行う管理・運営業務を受託しました。

情報の拡充に努め、各コンテンツページの情報更新のほか、「まちレポ」への記事を 28 本掲載、「応援ナビかわさき」に掲載した団体情報及び助成金情報を「つなぐっと KAWASAKI」に転載しました。また、2023 年 12 月で WEB サイトから Facebook ページと note に移行したため、note へこれまでの「まちレポ」を転載しました。

(10) 職員研修

職員の資質向上や必要とする知識習得等を目的に、市内外で開催される研修やシンポジウムなどに派遣しました。派遣した研修の内容等については【17頁：別表3】に記載しています。

(11) 賛助会員の確保

事業成果報告書を活用するなど賛助会員の拡充に努めた結果、2023年度の収入状況は、次のとおりとなりました。

種 別	会 費 (1口)	2022年度			2023年度		
		会 員 数	口 数	賛 助 総 額	会 員 数	口 数	賛 助 総 額
個人会員	1,000 円	52 人	141 口	141,000 円	46 人	230 口	230,000 円
団体会員	5,000 円	24 団体	26 口	130,000 円	18 団体	20 口	100,000 円
合 計		76 人・団体	167 口	271,000 円	64 人・団体	250 口	330,000 円

(12) 募金・寄付等の取組

ア ボランティア・市民活動募金

募金箱を当センター窓口やご協力を得た市内事業者各店舗へ設置しています。募金箱その他を合わせて、2023年度は 58,328 円の寄付がありました（前年度 88,277 円）。

イ 不用品買い取り額の寄付

自主財源を確保する方策として、ブックオフオンラインを通じて不用品の買い取り金額がセンターへ送金される仕組み（「キモチと。」）によって 197,735 円の寄付がありました（前年度 62,262 円）。

(13) その他

ア 後援名義の使用許可

申請のあった 21 団体に対して、後援名義の使用を許可しました。

イ 表彰推薦

以下の表彰に推薦を行い、受賞が決定しました。

表 彰	推 薦
令和 5 年度 川 崎 市 社 会 功 労 賞	社会福祉法人あおぞら共生会 理 事 長 明 石 洋 子 氏
令和 5 年度 川 崎 市 社 会 福 祉 協 議 会 会 長 表 彰	Women's body labo
令和 5 年度 川 崎 市 社 会 福 祉 功 労 者 表 彰	N P O 法 人 わ に な ろ う 会

【別表 1】パワーアップセミナー

①センター単独開催セミナー

開催日	内 容 (敬称略)		参加数	開催場所
第 1 回 5 月 21 日	テーマ	リアルに活動を伝える 1 分間動画をくまずは>スマホでつくれるようになりたい!	18 人	センター 会議室
	講 師	中山 望 (映像ディレクター)		
第 2 回 6 月 24 日 7 月 8 日	テーマ	相手の気もちが動くチラシ&伝わる広報のコツ	12 人	センター 会議室
	講 師	並木 節子 (かわさき市民活動センター職員)		
第 3 回 9 月 9 日	テーマ	団体の価値を仲間と育むインナーブランディング	19 人	センター 会議室
	講 師	岡本 克彦 (こすぎの大学)		
第 4 回 10 月 7 日	テーマ	活動が魅力的に伝わる広報写真が撮れるようになりたい!	14 人	センター 会議室
	講 師	うえはら まり (株)LIT/フォトグラファー		
第 5 回 11 月 11 日	テーマ	説得力のある事業報告書作成のコツ	15 人	センター 会議室
	講 師	手塚 明美 (NPO 法人藤沢市民活動推進機構 理事長)		
第 6 回 12 月 3 日	テーマ	担当職員から学ぶ 採択される助成金申請のポイント	17 人	自治会館 多目的室 2
	講 師	金田 浩司 (かわさき市民活動センター職員)		

②川崎市社会福祉協議会との共催セミナー

開催日	内 容 (敬称略)		参加数	開催場所
第 7 回 2 月 10 日	テーマ	基礎から学ぶ NPO のための資金調達 ~明日からはじめられる資金調達術を知る 180 分!~	16 人	センター 会議室
	講 師	徳永 洋子 (ファンドレイジング・ラボ 代表)		
第 8 回 3 月 16 日	テーマ	どうする? 団体活動の継続と世代交代~仲間を集め、活動を広げ、次世代へ伝えるコツ~	14 人	センター 会議室
	講 師	田所 喬 (NPO 法人 NPO フュージョン長池 理事長)		

③川崎市との共催セミナー

NPO法人向け特別講座

開催日	内 容 (敬称略)		参加数	開催場所
NPO 法人向け特別講座 ＜会計＞ 1 月 20 日 ・ 27 日	テーマ	NPO 法人の会計 1 回目 NPO 法人の日々の会計実務と決算 2 回目 NPO 法人の税務	16 人	センター 会議室
	講 師	中川 治男（税理士）		
第 10 回 ＜労務＞ 3 月 2 日	テーマ	知っておきたい！労働・社会保険の基礎知識	8 人	
	講 師	菊川 洋平（社会保険労務士）		

【別表 2】

(ア) 役員派遣状況

開催日	主催者	テ ー マ	対象	開催場所
8月4日	宮前市民館	あそびランドサポーター養成講座 ボランティアって？ 知っておきたい ボランティア心得	市民	宮前市民館
8月22日	多摩区役所 地域みまもり 支援センター	健康づくりボランティア・食生活改善 推進員養成教室 「地域で始めるボランティア：健康長 寿を目指して活動」	市民	多摩区役所
8月29日	高津区役所 地域みまもり 支援センター	健康づくりボランティア・食生活改善 推進員養成講座 「私にもできる地域のためのボラン ティア活動」	市民	高津区役所
9月1日	宮前市民館	識字ボランティア研修 識字（日本語）ボランティアとしての 心構えについて	市民	宮前市民館
9月15日	川崎区役所 地域みまもり 支援センター	健康づくりボランティア・食生活改善 推進員養成講座 「私にもできる地域のためのボラン ティア活動」	市民	川崎区役所
9月29日	多摩区役所 地域みまもり 支援センター	子育て支援者養成講座 「子育て支援 イチ・ニ・サン」	市民	多摩区役所
10月12日	宮前区役所 地域みまもり 支援センター	健康づくりボランティア養成講座 「ボランティアと地区組織活動：地域 でボランティア活動を行うために！」	市民	宮前区役所
11月9日	川崎区役所 地域みまもり 支援センター	すくすく子育てボランティア養成講座 「ボランティアって何？ ～楽しく続 けていくために～」	市民	川崎区役所

11月14日	川崎市文化財団	アートボランティア養成プロジェクト シンポジウム 芸術のまちづくりを考 える～フェスティバルにおける市民ボ ランティアの果たす役割と可能性～ (コーディネーター)	市民	アートセン ター
1月28日	川崎市公園緑地 協会	かわさきの森づくり 「ボランティアの心得」	市民	岡上分館
3月9日	宮前市民館	生涯学習交流集会 「これからの市民活動について」	市民	宮前市民館

(イ) 職員派遣状況

開催日	主催者	テーマ	対象	開催場所
4月27日	幸区役所 まちづくり推進部 企画課	令和5年度幸区提案型推進事業第1 回審査委員会（公開審査）	市民	幸区役所
5月11日	川崎市市民文化局 コミュニティ推進部 協働・連携推進課	7区企画課×コミュニティ推進部交 流会	職員	川崎市動物 愛護センター
5月26日	川崎市 社会福祉協議会	第1回福祉教育推進会議	担当	川崎市総合 福祉センター
6月1日	川崎区企業市民 交流事業推進委員会	第1回交流推進部会	部会委員	川崎区役所
6月15日	川崎市 幸区社会福祉協議会	令和5年度第1回幸区社協ボランテ ィアセンター運営委員会	運営委員	さいわい健 康福祉プラザ
7月12日	中原区役所 まちづくり推進部 地域振興課	令和5年度コスギコミュニティ推進 会議	委員	中原区役所
7月25日	川崎市市民文化局 コミュニティ推進部 市民活動推進課	令和5年度第1回まちづくり推進係 情報交換会	職員	中原区役所
7月31日	多摩区役所 道路公園センター	令和5年度管理運営協議会・公園緑 地愛護会合同連絡会	市民	Anker フロン タウン生田 アリーナ
7月5日、 8月3日	神奈川県立 かながわ県民活動 サポートセンター	パブリック・リレーションズ・サポ ートプログラム	アドバイ ザー	オンライン、 かながわ 県民活動サポ ートセンター
8月22日、 8月31日、 10月12日	神奈川県立 かながわ県民活動 サポートセンター	令和5年度アドバイザー相談業務相 談対応実務インターン派遣研修	市民	かながわ 県民活動サポ ートセンター
9月22日	川崎市立看護大学	サービスラーニング論Ⅱ	学生	川崎市立 看護大学

10月26日	専修大学ネットワーク情報学部	大学連携事業中間発表会	大学生	専修大学
11月8日	川崎区役所 道路公園センター	令和5年度川崎区管理運営協議会・ 公園緑地愛護会合同連絡会	市民	川崎区役所 第1～3 会議室
11月10日	幸区役所 道路公園センター	令和5年度幸区管理運営協議会・公 園緑地愛護会合同連絡会	市民	幸区役所 第1～4 会議室
11月22日	中原区役所 道路公園センター	令和5年度管理運営協議会・公園緑 地愛護会合同連絡会	市民	中原区役所 502 会議室
11月23日 ほか1日	川崎市市民文化局 コミュニティ推進部	川崎ワカモノ未来 PROJECT2023	高校生	新城 WORK PASAR BASE (ほか)
11月24日	高津区役所 まちづくり推進部 企画課	令和5年度まちづくりカフェたかつ 「助成金等の採択を目指すための資 料作りやプレゼンテーションスキル を習得しよう」	市民	高津区役所 1 階保健ホール
11月25日	一般社団法人健康 生きがい開発財団	人生100歳時代、生き生きシニアラ イフ講座	市民	川崎市生涯 学習プラザ
11月26日	開成町企画政策課 協働・連携推進班	令和5年度協働のまちづくり講座 「人が集まるチラシの作り方」	市民	開成町民 センター
12月6日	健康福祉局 保健医療施策部 動物愛護センター	かわさき犬・猫愛護ボランティア講 習会	市民	川崎市動物 愛護センター
12月9日	専修大学キャリア センター事務局 キャリア形成支援課	問題解決型チャレンジプログラム成 果発表会	大学生	オンライン
12月12日	公益財団法人 公園緑地協会	花と緑のまちづくり講座（第5回： 花と緑のまちづくりを学ぶ）	市民	市総合自治 会館大会議 室1・2
2月22日	川崎市立柿生中学校	職業講話	生徒	川崎市立柿 生中学校
3月19日	川崎区役所 地域振興課	令和5年度川崎区市民活動コーナー 利用者会議研修会	市民	川崎市教育 文化会館 第4・5 会議 室

【別表3】職員研修

開催日	主催者	内 容	開催場所
4月22日	まちづくり情報 センター かながわ	アリスセンターシンポジウム 「市民社会に向けた社会実験～アリスセ ンターの経験をバトンタッチする1日」	川崎市 総合自治会館

5月16日、 5月18日	内閣府	NPO 法人ポータルサイト 「ウェブ報告システム」に関する説明会	オンライン
5月23日	アライド・ブレインズ 株式会社	A.A.O.特別セミナー「総務省調査に関するアクセシビリティ改善」～総務省ガイドラインが求める取組と具体例～	東京国際 フォーラム
6月25日	市民有志	川崎の七区まちづくりを振り返る会	にこぶら新地
7月4日	アライド・ブレインズ 株式会社	A.A.O.セミナー 「公共機関サイトの重要課題」	東京国際 フォーラム
7月4日	アライド・ブレインズ 株式会社	A.A.O.特別セミナー 「リニューアル失敗率 76%から脱する方法」	東京国際 フォーラム
7月25日	日本電気株式会社	NEC プロボノサミット 2023@オンライン	オンライン
8月22日	NPO サポートセンター	「学んで活躍する場」のあり方を考える 交流会	協働ステーショ ン中央
8月23日	ヤフー株式会社	NPO 向け「情報発信」講座 「続けてみよう！SNS」	オンライン
9月7日	川崎市社会福祉協議会 ボランティア 活動振興センター	令和5年度第1回ボランティア コーディネーター研修「災害ボランティア センターマッチング体験」	川崎市 総合自治会館
9月21日	かながわ県民活動サポ ートセンター ボラン タリー活動サポート課	ボランタリー活動支援施設 「CEO ミーティング」	かながわ県民 センター
11月29日	川崎区企業市民 交流事業推進委員会	川崎区企業市民交流事業推進委員会研修 会	川崎マリエン、 川崎港
12月13日	川崎市中原区 100人カイギ	川崎市中原区 100人カイギ #3	山王会館
1月14日	川崎市多摩区 100人カイギ	川崎市多摩区 100人カイギ Vol.8	白いハコ
1月20日	明治大学地域デザイン 研究室ワイナリーPJ	多摩区ワイナリー計画はじまり会議～〈ワ インを核としたまちづくり〉をまちのみんな で考えよう！～	白いハコ
2月27日	一般社団法人 SDGs 市 民社会ネットワーク	NPO の SDGs 全国調査報告フォーラム～ SDGs の先を見据え、NPO の強みを活か してつながるために	オンライン
2月14日 ・21日	株式会社ガハハ	ファンドレイジングのための NPO デザイ ン	オンライン
2月28日	株式会社 STYZ	FRJ2024“みんなで始める「寄付募集の科 学」の実務への応用”	オンライン
3月17日	グリーンバード専修大学	学生×地域団体交流会	白いハコ

2 青少年健全育成事業

2023年度の主な取組は次のとおりです。これまでの経験と知識を活かし、こども文化センター53館・わくわくプラザ102施設等の適切な管理・運営に努めました。

また、第5期（令和6年4月から）の指定管理者募集の公示が8月に行われ、これに対し、21グループ（こども文化センター53館・わくわくプラザ104施設）へ応募しました。そして、選定の結果、第5期については15グループ（こども文化センター41館・わくわくプラザ76施設）を当財団が受託することとなり、指定管理者変更施設の新事業者への引継ぎを適正に行いました。

（1）こども文化センター事業

ア 基本方針

子どもたちの安全確保を旨とし、遊びや行事等にも工夫を凝らし、子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所づくりに取り組むとともに、様々な世代が集まる地域の拠点としての機能の強化にも取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類」に緩和されたことから、利用者ニーズに即した行事や地域と連携した行事等、多種多様な事業展開を強化しました。



こぶんまつり

こども文化センター利用状況推移表

利 用 者 種 別	2018年度(コロナ禍前) (52館)	2022年度 (53館)	2023年度 (53館)	前年度比較 (増減)
乳 幼 児	308,506人	213,765人	259,017人	45,252人
小 学 生	680,606人	511,360人	636,931人	125,571人
中 学 生	176,792人	129,659人	168,444人	38,785人
高 校 生	32,624人	21,603人	26,992人	5,389人
成 人	413,773人	325,099人	384,501人	59,402人
利 用 者 合 計	1,612,301人	1,201,486人	1,475,885人	274,399人
(一館あたり)	(31,006人)	(22,670人)	(27,847人)	(5,177人)
内 団 体 利 用 人 数	271,519 人	186,538 人	203,571 人	17,033 人

※ 2020年8月に小杉こども文化センターが開設され、53館となりました。

こども文化センター満足度調査結果

対象	こども文化センター利用者（乳幼児親子、小学生、中学生、高校生、成人）		
実施期間	11月27日～12月24日	回答者数	5,039人
調査方法	アンケート用紙配付による調査		
調査項目			満足度
こども文化センターは楽しく過ごせますか？			96.7%
こども文化センターの行事は充実していると思いますか？			83.0%
施設の利用ルールは分かりやすく、安心して利用できますか？			93.7%
施設の職員は対応がよく、相談しやすいと思いますか？			92.2%
施設の清掃は行き届いていると思いますか？			91.4%
総合満足度（平均）			91.4%

イ 地域人材の育成と活動の場の提供

（ア） 運営協議会との連携強化

全てのこども文化センターでは、地域と連携した館運営を行うために、地域の方々が委員となった運営協議会を設置しています。運営協議会では、こども文化センターの様々な課題について協議を行い、施設利用のルール作りや地域団体との橋渡しを担うとともに、行事等にも積極的に参画する等、その役割は多岐にわたっています。全市で232回（各館平均4回）の運営協議会が開催され、延べ3,589名の運営委員の方に参加していただきました。

また、各館では、運営協議会の委員の方々に、多くのご支援・ご協力をいただき「ハロウィン～地域ふれあいの旅～」「もちつき大会」「イルルンフェスタ2023」「にじいろフェスティバル」「さつまいもの植え付け体験」「かきっこ芸術祭」等の特色ある行事を開催しました。

各館の運営協議会で出された意見や結論を集約し、行事日程や事業内容の確認・調整等、こども文化センターの運営に活かしました。

（イ） 地域活動の担い手の育成機能強化

利用児童で組織する「子ども運営会議」は、延べ721回（各館平均13回）開催され、延べ4,460人（各館平均84人）が参加しました。子どもたち自身の企画・運営により「おばけ屋敷」「加瀬っ子わく♪ドキゲームラリー」「カードゲーム大会」等、様々な行事が実施されました。

また、中学生・高校生の利用に際しては、主体的な活動の尊重・支援を基本とし「美術部コラボ」「小田城えんにち」「中学生企画ゲーム大会をしよう！」等、様々な工夫を凝らした行事に取り組みました。

これらの活動を通じて、子ども自身が地域の一員であることを自覚できるよう取り組み、



カードゲーム大会

地域活動の担い手となるよう育成・支援を図りました。

(ウ) 活動の場の提供機能強化

こども文化センターは地域の児童の健全育成に寄与するという目的施設ですが、児童の利用が少ない時間帯については、地域のボランティアや市民活動団体等の方々の活動の拠点として利用していただいています。

また、市民活動団体や地域の方々に協力いただき「世界のこ
とばで遊ぼう」「にこにこあおむし人形劇」「木育おもちゃと
グッドトイで遊ぼう!」「剣術ショー」「鉄道模型とジオラマ
の世界」「ミニ四駆を楽しもう～スピードレース体験～」等を実
施し、連携を強化しました。



鉄道模型とジオラマの世界

こども文化センター団体利用状況推移表

団 体 種 別	2018年度(コロナ禍前) (52館)	2022年度 (53館)	2023年度 (53館)	前年度比較 (増減)
青 少 年	2,493団体	2,819団体	3,483団体	664団体
市 民 活 動	10,407団体	10,748団体	10,763団体	15団体
幼 児 G	5,645団体	4,784団体	4,791団体	7団体
そ の 他	454団体	395団体	245団体	▲150団体
計	19,449団体	18,746団体	19,282団体	536団体

音楽室が設置されているこども文化センター4館については、新型コロナウイルス感染症
予防対策として、状況に応じて音楽室の利用制限を設けながら利用していただいた結果、中
学生・高校生のほか、地域音楽活動の拠点として延べ3,773団体、5,353人が音楽
室を利用しました。

各施設の利用状況については【31頁；別表1】に記載しています。

(2) わくわくプラザ事業

ア 基本方針

わくわくプラザは、すべての小学生を対象としています。そのため、日頃から小学校との
連携を密にして、子どもたちの様子や学校の月間スケジュール、わくわくプラザの行事日程
等の情報交換を行っています。子どもたちが、放課後・土曜・長期学校休業日等に安心して
楽しく過ごすことのできる、また、保護者が安心して子どもを託すことができる事業運営に
努めました。

わくわくプラザ利用状況推移表

種 別	2018年度(コロナ禍前) (101施設)	2022年度 (102施設)	2023年度 (102施設)	前年度比較 (増減)
在 校 児 童 数	65,731人	66,382人	66,077人	▲305人
登 録 児 童 数	31,934人 (1,049人)	22,461人 (1,728人)	27,822人 (2,164人)	5,361人 (436人)
登 録 率	48.6%	33.8%	42.0%	8.2%
利 用 人 数	2,132,105人 (98,509人)	1,889,984人 (182,485人)	2,266,546人 (230,681人)	376,562人 (48,196人)
1 日 平 均 利 用 者 数	7,302人 (337人)	6,450人 (623人)	7,605人 (774人)	1,155人 (151人)

※（ ）内は特別な支援を必要とする児童の内数です。2019年度より、特別な配慮を要する児童の対象範囲が拡大されました。

わくわくプラザ満足度調査結果

対 象	わくわくプラザ利用児童保護者		
実施期間	11月27日～12月24日	回答者数	4,146人
調査方法	WEB（アンケートシステム）による調査		
調査項目		満足度	
お子様はわくわくプラザを楽しそうに利用していると思いますか？		85.3%	
わくわくプラザの行事は充実していると思いますか？		78.0%	
安全が確保されており、安心して利用できると思いますか		89.6%	
活動内容は保護者に伝えられていると思いますか？		66.9%	
スタッフは対応が良く相談しやすいと思いますか？		86.4%	
総合満足度（平均）		81.2%	

イ プログラムの充実

利用児童で組織する「子ども運営会議」は、延べ1,307回（各わくわくプラザ平均12回）開催され、合計42,043人（各わくわくプラザ平均412人）が参加し、子どもたち自身の企画・運営により「古市ミニ縁日2023」「しもこパトロール隊2023」「みんなで遊ぼう！」「ひがしかきおわくわくキャラバン」等、様々な行事が実施されました。

また、各施設の地域状況に応じて、関係機関（幼稚園・保育園、学校、老人いこいの家、高齢者施設、地域の寺子屋、子ども会、地域団体・人材、企業、行政機関等）と連携して「キッズプログラミング講座」「手話教室」「認知症サポーター養成講座」等を実施し、子どもたちに様々な体験活動を提供しました。



キッズプログラミング講座

ウ 学習タイムの実施

子どもたちの学習習慣の形成を図り、落ち着いて自学・自習ができる時間と場所を確保するため、平日の17:00から17:30までを、学習タイムとし、利用児童全てがこの時間帯に、学校の宿題や持参した学習ドリル等に取り組みました。土曜日・長期学校休業日等については、時間帯や活動時間は各施設のプログラムに合わせて、必ず毎日実施しました。

また、宿題が終わった児童等に、東京学芸大学こども未来研究所と朝日新聞社の共同研究を活用したあそびのプラットフォーム「すき！がみつかる 放課後のしーと」を提供し、遊びながら勉強に取り組める環境を整えました。

エ 「地域の寺子屋」との連携

川崎市は、元教員、地域住民、学生、保護者等が寺子屋先生となり、週1回、放課後に学習支援を行い、月1回、体験学習・世代間交流のイベントを実施する「地域の寺子屋事業」を推進しています。

わくわくプラザにおいては「地域の寺子屋事業」の学習支援の取組を見学するほか、土曜日に開催される体験教室「海底探査に行こう」「オカリナを楽しもう！」に参加しました。また、寺子屋事業者に講師を依頼し「寺子屋将棋教室」を開催し、連携を強化しました。

オ 子育て支援・わくわくプラザ事業への対応

「子育て支援・わくわくプラザ事業」とは、川崎市が実施している事業で、就労等により、わくわくプラザが終了する午後6時までに児童のお迎えが難しい保護者のため、午後7時まで、わくわくプラザを延長するサービスのことです。当財団は、この業務を川崎市から受託し、全てのわくわくプラザで実施しました。

子育て支援・わくわくプラザ利用状況推移表

種 別	2018年度(コロナ禍前) (101施設)	2022年度 (102施設)	2023年度 (102施設)	前年度比較 (増減)
登 録 児 童 数	2,601人 (67人)	2,270人 (132人)	2,388人 (161人)	118人 (29人)
延 べ 利 用 人 数	140,576人 (4,360人)	79,155人 (6,488人)	84,543人 (6,473人)	5,388人 (▲15人)
1 日 平 均 利 用 人 数	576人 (15人)	326人 (27人)	342人 (26人)	16人 (▲1人)

※（ ）内は特別な支援を必要とする児童の内数です。2019年度より、特別な配慮を要する児童の対象範囲が拡大されました。

(3) こども文化センター・わくわくプラザ共通事項

ア 財団独自の取組

(ア) 複数館による合同事業の開催

同一区内又はグループ内児童の親睦と交流の輪を広げることを目的として、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、様々な行事に取り組みました。合同事業については【32頁；別表2】に記載しています。

また、子どもたちが共通の遊びに挑戦し記録を競う「こんちゃれ（今月のチャレンジ）」を毎月実施し、幼児から高校生までの延べ39,298人が参加しました。

（イ） いのちの大切さを伝える事業

子どもたちが「いのちの大切さ」について考える機会を設けるため、各施設で「クジラ博士の出張授業」「シェアドッグスクール」「アニマモールいのちMIRAI教室」「中学生と乳幼児ふれあい事業」等の事業を実施しました。

また「いのちの大切さを伝える読み聞かせ事業」として「おじいちゃんがおばけになったわけ」「お前うまそうだなシリーズ」「水色のマフラー」等の本を読み聞かせました。

さらに、例年、連携しているNPO法人ナガサキピーススフィア員の火運動による「被爆体験紙芝居」を、わくわくプラザ9施設で催しました。



中学生と乳幼児のふれあい事業

（ウ） 多様性への理解を深める事業

子どもたちが年齢・性別・障がい・国籍等、多様な人々への理解を深め、相手を思いやり、互いに認め合うことができる豊かな心を育成するため「盲導犬出前授業」「日本の文化を体験しよう」「海外文化体験 フラ&パンケーキ」等を実施し、多様性への理解を深める取り組みを推進しました。



「海外文化体験 フラ&パンケーキ」事業

イ 多世代連携について

各施設では、地域の様々な特技・知識等を持つ方々にボランティア講師となっただき、地域の子どもと大人が共に遊び、育み合う環境を醸成する取り組みとして「おもしろ科学たいけん塾サイエンスショー」「農業体験～じゃがいも掘り～」「走り方教室」「だじゃれ教室」「キラキラ腹話術」「チアダンス体験会」等、様々な事業を実施し、ボランティアと子どもたちの交流を推進しました。

ウ 学校及び行政機関等との連携

円滑な事業運営に資するために、地域で開催される様々な会議（生涯学習推進会議、地域教育会議等の会議）に出席し、地域情報を得るとともに、こども文化センター・わくわくプラザの情報を提供する等、情報の共有を図りました。

また、区役所（地域みまもり支援センター等）、地域団体（子ども会等）が実施する行事に積極的に参加し、地域関係機関等との連携強化に努めました。

なお、区役所等が主催する子育てフェスタ等のイベントへの参加、出展については、次の通りです。

主 催 者	開 催 日	事 業 名（総数）	内 容（参加数）	開 催 場 所
川 崎 区	10月28日	かわさき区 子育てフェスタ2023 (1,015人)	あそびひろば (249人)	川崎市教育文化会館
幸 区 役 所	12月3日	みんなで子育てフェア さいわい (1100人)	お面づくり (651人)	幸 区 役 所
中 原 区	11月2日 11月3日	なかはら 子ども未来フェスタ (3,740組)	SDGs工作 (608人)	グ ラ ン ツ リ ー 武 蔵 小 杉
高 津 区	11月25日	子ども・子育てフェスタ (1,600人)	ミラクルたまご (440人)	高 津 市 民 館
宮 前 区	10月21日	みやまえ子育てフェスタ (1,300人)	プラバン (216人)	宮 前 市 民 館
たまたま子育て まつり実行委員会	9月17日	たまたま子育てまつり (4,000人)	ワークショップ (447人)	多 摩 区 役 所
麻 生 区 役 所	9月16日	あさお子育てフェスタ (200人)	ダンボール迷路 (301人)	麻 生 市 民 館

※参加数は、各こ文から引率参加した児童数及び出店したブース等に参加した児童数の合計です。

エ 特別な配慮を必要とする利用者への対応方法

特別な支援を必要とする児童に対し、より適切な対応が行えるよう、元特別支援学校の教諭や小学校の校長経験者等の巡回相談員を8人配置しました。巡回相談員は、豊かな経験と専門知識を持ち、当該業務に従事するスタッフのアドバイザーとして、またスタッフ研修の講師として活躍しました。

また、学校や家庭との日頃からの連携・情報の共有に努めるとともに、発達相談支援センター・児童相談所・地域療育センター、放課後デイサービス等の関係諸機関との連携強化にも取り組みました。

オ 安全・安心の確保

(ア) 事故について

児童の安全・安心の確保は本事業の基本であり、職員一人ひとりがそのことを常に念頭に置いて日々の業務にあたるよう心がけました。

また、遊具の安全確認、適切な見守り配置、子どもたちへの声掛け、準備運動等、様々な取り組みについて定期的に見直すとともに、館長会議や各施設の会議にて、他施設での事故事例を共有し、類似事故の防止対策を検討することにより、本部・各館が一丸となって事故ゼロ運動を推進するとともに、利用児童が怪我を負った場合は「事故対応マニュアル」に基づいて、迅速かつ適切な対応に努めました。

① こども文化センターでの事故について

こども文化センターで起きた26件の事故のうち、19件は集会室となっており、転倒による事故が多くなっています。また、乳幼児による事故が1件ありました。

こうした事故を未然に防ぐため、職員の定期的な見守りと声かけを強化するとともに、特に集会室で遊ぶ児童に対しては事前の注意喚起を行うよう徹底しました。

過去5年間のこども文化センターにおける事故の件数

月	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
4月	0 (0)人	0 (0)人	3 (0)人	0 (0)人	0 (0)人
5月	2 (1)人		1 (1)人	1 (0)人	2 (1)人
6月	2 (2)人		1 (1)人	0 (0)人	3 (1)人
7月	2 (0)人	0 (0)人	2 (2)人	1 (0)人	1 (0)人
8月	3 (1)人	1 (0)人	1 (1)人	1 (0)人	1 (1)人
9月	2 (0)人	0 (0)人	0 (0)人	3 (2)人	1 (0)人
10月	3 (0)人	1 (0)人	2 (1)人	2 (0)人	2 (1)人
11月	1 (1)人	0 (0)人	1 (0)人	4 (2)人	4 (2)人
12月	1 (1)人	1 (0)人	0 (0)人	1 (0)人	4 (1)人
1月	1 (1)人	0 (0)人	2 (0)人	2 (1)人	2 (0)人
2月	0 (0)人	1 (0)人	3 (0)人	1 (1)人	2 (1)人
3月	0 (0)人	0 (0)人	0 (0)人	4 (1)人	4 (1)人
計	17 (7)人	4 (0)人	16 (6)人	20 (7)人	26 (9)人

* () は4日以上通院の事故内数(2024年3月31日現在)

* 緊急事態宣言により、臨時休館(2020年4月11日~5月31日)

② わくわくプラザでの事故について

わくわくプラザにおける事故件数は208件となっています。発生率の高い怪我としては、擦傷・打撲83件、骨折(ヒビ含む)31件、捻挫・突き指31件が挙げられます。対策として、日々の準備運動や注意喚起を強化するよう指示したほか、事故対応研修では、昨年度、無事故だったわくわくプラザの取り組み事例を基に事故防止について学ぶ機会を設けました。

過去5年間のわくわくプラザにおける事故の件数

月	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
4月	15 (3)人	6 (2)人	20 (2)人	17 (3)人	35 (8)人
5月	11 (3)人	2 (0)人	15 (4)人	14 (1)人	21 (6)人
6月	18 (4)人	6 (2)人	17 (1)人	18 (4)人	29 (2)人
7月	13 (4)人	15 (4)人	17 (1)人	17 (3)人	17 (2)人
8月	9 (1)人	7 (1)人	10 (1)人	17 (2)人	14 (1)人
9月	3 (0)人	9 (1)人	11 (1)人	27 (6)人	11 (1)人
10月	12 (4)人	14 (4)人	14 (3)人	21 (2)人	17 (5)人
11月	16 (3)人	16 (1)人	12 (2)人	22 (3)人	13 (1)人
12月	10 (0)人	22 (4)人	17 (0)人	21 (2)人	16 (2)人

1月	11 (1)人	6 (0)人	10 (1)人	15 (3)人	11 (1)人
2月	8 (1)人	12 (2)人	7 (2)人	14 (3)人	6 (0)人
3月	3 (1)人	16 (3)人	12 (2)人	12 (2)人	18 (5)人
計	129 (25)人	131 (24)人	162 (20)人	215 (34)人	208 (34)人

* () は4日以上通院の事故内数(2024年3月31日現在)

③ その他の場所での事故について

わくわくプラザの登下校時の事故は41件でした。児童が退室する際は、気を付けるよう注意喚起をするとともに、一人帰りの児童の保護者に対し、帰宅時間や経路について、児童と一緒に検討していただくよう、迎え時やたよりを通して働きかけました。

また、利用児童と共に安全マップを作成したほか、安全に関わる様々な行事を実施して、子どもたちの安全意識の向上に努めました。中でも、鷺沼小学校わくわくプラザ「さぎぬまわくキッズ探索隊」が制作した安全マップが、第73回社会を明るくする運動の宮前地区推薦委員会から表彰されました。また、日本損害保険協会等が主催する「ぼうさい探検隊マップコンクール」において、応募総数1,708作品(入賞22作品・佳作60作品)の中から、次の賞を受賞しました。

佳作	三田こども文化センター 鷺沼小学校わくわくプラザ 宮崎小学校わくわくプラザ 東小田小学校わくわくプラザ 稲田小学校わくわくプラザ 南百合丘小学校わくわくプラザ
----	--

(イ) 感染症予防対策

感染症、食中毒等の予防策として、手洗いを励行するとともに、児童の弁当や行事に使用する食品の管理を徹底しました。

また、新型コロナウイルス感染症については、引き続き、手洗い、換気等、基本的な感染症対策を実施するほか、最新の状況などについて産業医から助言いただき、館長会議等で共有し、適切に対応しました。

(ウ) 防災対策

災害に備え、毎月、訓練を実施し、避難訓練や防災用品等の点検を行うとともに、災害伝言ダイヤルを活用した連絡手段を利用者に周知しました。

また、わくわくプラザでは、災害時等の対応について小学校と確認し、保護者に対して、連絡、引き取り方法等を周知するとともに、警報等が発令された際には、配信メールシステムを使用して、わくわくプラザの対応を周知しました。

(工) その他の安全対策

① 防犯対策

各こども文化センターの外側に設置された防犯カメラを活用するとともに、訪問者の目的や様子を把握するため、職員からあいさつ等の声掛けを行い、不審者の侵入を抑制しました。また、各施設が学校や地域から不審者情報を得た場合は、利用者に注意喚起するとともに、本部を経由して他施設に伝達し、事件・事故の予防に努めました。

② 食物アレルギーへの対応

次の基本ルールを遵守し、子どもたちのアレルギー事故防止に取り組みました。

施 設 名	対 応 策
共 通	アレルギーのある児童が差別されないよう、食物アレルギーについての啓発活動に努める。 児童がアナフィラキシーショックを起こした場合に備え、アドレナリン自己注射薬（エピペン）の投与等、応急処置ができるようにアレルギー研修の受講を職員に義務付ける。
こども文化センター	当財団が単独で主催する行事等で食物を提供する場合は、事前申込制とし、アレルギーの確認については、児童ではなく、保護者にしていただくことを基本とする。 共催行事等で、食物を提供する場合は、上記ルールの適用を保護者や関係者の理解を得ながら進める。
わくわくプラザ	わくわくプラザ登録時にアレルギーのある子どもの保護者に「食物アレルギー調査票」の提出をお願いし、さらにおやつ申込時に、原材料名（成分表）が記載されたメニュー表をもとに、保護者にアレルギーチェックをお願いする。 子どもにおやつを配布するときには、必ず複数の職員が「食物アレルギー調査票」に基づきチェックする。アレルギーとなる成分が入っているおやつについては、当該児童の保護者に手渡す。このとき、おやつが食べられなかった児童には、十分な説明をする。

カ 環境整備の推進

(ア) 基本方針

老朽化が進んでいるこども文化センターの中には、建替え又は大規模修繕が必要なものがいくつかあります。今後、こうした施設の取扱いについて、市との協議を進めるため、施設整備状況確認調査を実施しました。

(イ) 大規模修繕

30万円以上の施設・設備の修繕については、所有者である川崎市が行うこととなっていますが、安全・安心の確保や環境整備の観点から緊急度が高い場合については、市と協議のうえ、指定管理者が行っていますが、今年度については当該案件はありませんでした。

(ウ) 小規模修繕・軽工事

30万円未満の施設・設備・用具等の修繕については、指定管理者が行うこととなっています。施設や用具等の安全管理については、日ごろから点検を欠かさず、破損や故障を発見した場合は、迅速に対応しました。

今年度は「エアコン不具合への対応」「水まわり（主にトイレ）」「換気扇」等電機系統を中心に、こども文化センターは146件（総額11,936,335円）、わくわくプラザは130件（総額9,599,050円）の補修・改修の工事等を実施しました。

また、簡易的な補修や書棚、遊具棚等の製作においては、現場を熟知している元学校業務職の方々にご協力をいただき、迅速な対応を図りました。

キ 情報発信の取り組み強化

（ア） ホームページの活用

行事の開催・活動内容・団体への部屋の貸し出し状況等、施設に関する最新の情報を提供できるよう、定期的に掲載内容を更新しました。

（イ） かわさき子育てアプリの活用

行事の開催情報を定期的に更新し、子育て情報の周知に努めました。

※かわさき子育てアプリは、川崎市内の子育てに係る情報を配信するアプリケーション（ソフトウェア）です。

（ウ） 地域メディアの活用

かわさきFMで毎月第4月曜日に放送されている『まちかどからお届け』に出演しました。アナウンサーがこども文化センターを訪問し、館の行事予定や活動の様子等が、生放送で伝えられました。

ク 効果的な研修計画の策定・実施

青少年健全育成事業のサービス向上には、職員の資質向上が欠かせません。「新任館長・職員研修」等の勤務経験や職位に応じた各種研修を計画的に実施するとともに、グループ、館ごとに、地域性を重視した研修を実施しました。

また、川崎市や他の団体が主催で行う研修に積極的に参加し、職員のスキルアップや資格の取得を進めるとともに、職員が必要とする研修を効率・効果的に受講できるよう各館に職員ごとの研修受講記録を備えました。

各研修と受講者数については【33頁；別表3①】【34頁；別表3②】【38頁；別表3③】【40頁；別表3④】に記載しています。

ケ 教育実習・インターンシップ等への対応

教育実習について、実習生6名を受け入れました。また、社会体験研修として教諭2人を受け入れました。また、小・中学校、高等学校の児童生徒がこども文化センターを訪問するまち探検（社会科見学）、職業体験については、48館に延べ2,827人が来館しました。

施設ごとの受入状況については【40頁；別表4】に記載しています。

コ いじめ等による子どもの変化の気づきについて

いじめや虐待、不登校等、子どもを取り巻く社会問題は多様化・複雑化が進んでおり、痛ましい事件も後を絶ちません。

川崎市からも、虐待の疑い等の気づきがあった場合は組織的に対応し、複数の機関で見守る体制を整えることが求められています。

虐待が疑われる児童の報告フローや、早期発見のチェックリストを活用し、被虐待児の把握に努め、川崎市へ報告する体制を整えるとともに、各区要保護児童対策地域協議会に代表館長が出席するほか、全市の要保護児童対策地域協議会代表者会議に本部係長が出席し、情報共有に努めました。

【別表 1】音楽室の利用状況

施設名	利用者	2021 年度	2022 年度	2023 年度	前年度比較 (増減)
南 河 原	小 学 生	19 人	23 人	52 人	29 人
	中 学 生	101 人	290 人	138 人	▲152 人
	高 校 生	257 人	62 人	595 人	533 人
	一 般	368 人	365 人	308 人	▲57 人
	合 計	745 人	740 人	1093 人	353 人
	団 体 数	679 団体	604 団体	744 団体	140 団体
小 杉	小 学 生	21 人	61 人	54 人	▲7 人
	中 学 生	48 人	39 人	78 人	39 人
	高 校 生	196 人	99 人	149 人	50 人
	一 般	266 人	547 人	793 人	246 人
	合 計	531 人	746 人	1,074 人	328 人
	団 体 数	412 団体	496 団体	720 団体	224 団体
宮 崎	小 学 生	56 人	57 人	72 人	15 人
	中 学 生	41 人	11 人	22 人	11 人
	高 校 生	42 人	69 人	445 人	376 人
	一 般	1049 人	1,022 人	945 人	▲77 人
	合 計	1,188 人	1,159 人	1,484 人	325 人
	団 体 数	1,130 団体	1,011 団体	1,059 団体	▲48 団体
白 山	小 学 生	47 人	36 人	34 人	▲2 人
	中 学 生	28 人	15 人	117 人	102 人
	高 校 生	65 人	307 人	338 人	31 人
	一 般	1,005 人	1,311 人	1,213 人	▲98 人
	合 計	1,145 人	1,669 人	1,702 人	33 人
	団 体 数	1044 団体	1,316 団体	1,250 団体	▲66 団体
計	小 学 生	143 人	177 人	212 人	35 人
	中 学 生	218 人	355 人	355 人	0 人
	高 校 生	560 人	537 人	1,527 人	990 人
	一 般	2,688 人	3,245 人	3,259 人	14 人
	合 計	3,609 人	4,314 人	5,353 人	1,039 人
	団 体 数	3,265 団体	3,427 団体	3,773 団体	346 団体

【別表2】合同事業一覧

実施単位	開催日	内 容	参加数	開催場所（当日）
川 崎 区 第 1・2・3 G	12月16日	マンカラ大会 2023	594人	ふれあいプラザかわさき 2 階 ホール
川 崎 区 第 1 G	10月9日	3 館 GODO デイキャンプ	17人	万騎が原 こども自然公園 (横浜市旭区)
川 崎 区 第 3 G	2月17日	田島地区こども文化センター ポッチャ大会	28人	渡 田 小 学 校 体 育 館
幸 区 第 1・2 G	11月26日	幸区ポッチャ大会へ参加しよう！	18人	川崎市幸スポーツセンター 大 体 育 室
幸 区 第 2 G	12月26日	幸区第2グループ合同事業 「ハッピー eeee♪ イススポーツ大会！！」	66人	南加瀬こども文化センター
中 原 区 第 1・2・3・4 G	11月16日	秋のヴァイオリンコンサート ～子どもたちに音楽の贈り物を～	154人	総 合 自 治 会 館
中 原 区 第 1 G	9月24日	KOSUMARU デイキャンプ ～WAKUWAKU がとまらない～	40人	林 試 の 森 公 園
中 原 区 第 1 G	1月13日	KOSUMARU CUP ～あつまれ！ポッチャ大会～	32人	小 杉 小 学 校 ア リーナ
中 原 区 第 4 G	10月31日	乳幼児と高校生のふれあい交流会	43人	新城こども文化センター
高 津 区 第 2 G	1月13日	ポッチャ大会	328人	二子こども文化センター
高 津 区 第 3 G	10月14日 ～15日	どっきどき☆ トリプルハッピーキャンプ	14人	青 少 年 の 家
高 津 区 第 1・2・3 G	11月12日	高津区こどもフェア	200人	多摩川二子河川敷
宮 前 区 第 1 G	11月11日	ポッチャ体験会	52人	西 野 川 小 学 校 体 育 館
宮 前 区 第 2 G	9月10日	川崎市青少年の家へ行こう (デイキャンプ)	41人	青 少 年 の 家
宮 前 区 第 2 G	11月23日	ら・ら・らデイキャンプ	54人	川崎市青少年の家
多 摩 区 第 1 G	12月26日	スポーツスタッキング☆ チャンピオンシップ	81人	長 尾 こ ど も 文 化 セ ン ター
多 摩 区 第 1 G	10月9日	トレ・トレ・カレー第2弾	37人	黒 川 青 少 年 野 外 活 動 セ ン ター
多 摩 区 第 2 G	11月25日	ユニバーサルスポーツ大会	82人	三 田 こ ど も 文 化 セ ン ター
多 摩 区 第 3 G	10月9日	ふれあいデイキャンプ	39人	黒 川 青 少 年 野 外 活 動 セ ン ター
多 摩 区 第 3 G	12月2日	地域ふれあいステージ	237人	菅 小 学 校 体 育 館
麻 生 区 第 1 G	12月3日	ポッチャ大会	40人	百合丘小学校体育館
麻 生 区 第 2 G	11月26日	おかにーのネイチャーキャンプ 2023	56人	王 禅 寺 四 ツ 田 緑 地
麻 生 区 第 3 G	6月24日	モルック大会	102人	山 口 台 公 園
麻 生 区 第 3 G	11月25日	秋の味覚争奪戦！ オータムデイキャンプ	32人	黒 川 青 少 年 野 外 活 動 セ ン ター
麻 生 区 第 3 G	9月30日	フレンズカップ 2023	143人	麻生こども文化センター
麻 生 区 1・2・3 G	1月27日	あさおオンラインクイズバトル 2023	495人	各こども文化センター わくわくプラザ

【別表3】研修実施状況

①財団主催研修（全市合同）

研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
新 任 館 長 ・ 主 査 研 修	青少年事業課 課長、主幹、職員係長、 エリアマネージャー 社会保険労務士	館 主 長 査	3 人	財 団 本 部
新 任 館 長 ・ 新 任 職 員 研 修 （ 事 務 研 修 I ）	青少年事業課 職員係、事業係、予算 係、施設係、人材育成係 （係長、主任、職員）	館 職 長 員	22 人	財 団 本 部
新 任 館 長 ・ 新 任 職 員 研 修 （ 事 務 研 修 II ）	青少年事業課 職員係、事業係、予算 係、施設係、人材育成係 （係長、主任、職員）	館 職 長 員	27 人	財 団 本 部
新 任 館 長 ・ 新 任 職 員 研 修 （ 普 通 救 命 講 習 III ）	公益財団法人 川崎市消防防災指導公社	課 館 主 主 職 職 臨 時 職 員	52 人	中 原 消 防 署
新 任 館 長 ・ 新 任 職 員 研 修 （ フォロ－アップⅣ研修）	青少年事業課 主幹、エリアマネージャー エリア事務担当（主任、職 員）、人材育成係（係長、職 員）	館 職 長 員	31 人	財 団 本 部
主 任 本 部 体 験 研 修	青少年事業課 職員係、事業係、人材育成 係、エリアマネージャー（係 長、主任、職員）	主 任	14 人	財 団 本 部
主 任 研 修 （本部体験研修【全体説明】）	青少年事業課 職員係、事業係、予算 係、施設係、人材育成係 （係長、主任、職員）	主 任	13 人	財 団 本 部
主 任 研 修 （新任研修体験談発表）	青少年事業課 エリアマネージャー	主 任	4 人	財 団 本 部
主 任 研 修 （館長会議参加）	青少年事業課 課長、主幹、係長、エリア マネージャー	主 任	13 人	生涯学習プラザ
事故対応研修（事例検討）	青少年事業課 主幹、エリアマネージャー、 エリア事務担当（主任、職員） 人材育成係（係長、職員）	主 職 任 員	52 人	総 合 自 治 会 館

②財団主催研修（グループ単位）

実施単位	研 修 名	講 師	対 象	参 加 数	開 催 場 所
川 崎 区 第 1 G ～ 3 G	川 崎 区 市民救命士養成講習	公益財団法人 川崎市消防防災指導公社	臨 時 職 員	24 人	旭町こども文化センタ ー
川 崎 区 第 1 G ～ 3 G	川 崎 区 市民救命士養成講習	公益財団法人 川崎市消防防災指導公社	館 長 員 職 臨 時 職 員	24 人	日進町こども文化セン ター
川 崎 区 第 1 G ～ 3 G	ア ン ガ ー マ ネ ー ジ メ ン ト 研 修	株式会社マルシヨン・アンサ ンブル 鈴木 恵枝氏	館 主 長 主 査 任 職 員 員 臨 時 職 員	84 人	川崎市役所大師支所 2 F 第 1 . 2 会 議 室
川 崎 区 第 2 G	他 施 設 体 験 研 修	各わくわくプラザリーダー大 師小わくわくプラザ 茂木 京子 四谷小わくわくプラザ 山口 知美 藤崎小わくわくプラザ 堀込しおり 川中島小わくわくプラザ 宮城 江里奈 殿町小わくわくプラザ 高木 琴美 東門前小わくわくプラザ 安藤 恵	臨 時 職 員	30 人	各わくわくプラザ室
幸 区 第 1 G ～ 2 G	幸 区 市民救命士養成講習	公益財団法人 川崎市消防防災指導公社	館 主 長 職 員 員 臨 時 職 員	30 人	下平間こども文化セン ター
幸 区 第 1 G ～ 2 G	ア ン ガ ー マ ネ ー ジ メ ン ト 研 修	一般社団法人アンガーマネ ジメントジャパン 実践リーダー 清水正江氏	館 主 長 主 任 員 員 職 員 員 臨 時 職 員	51 人	幸市民館 第 1 会議室
幸 区 第 1 G	鬼ごっこフェス研修	幸町小学校わくわくプラザ 職員 田中恵子 戸出小学校わくわくプラザ 主任 眞砂亜紀 古川小学校わくわくプラザ 職員 須貝龍一	館 主 長 主 任 員 員 職 員 員 臨 時 職 員	26 人	幸こども文化センター
幸 区 第 2 G	他 施 設 体 験 研 修	わくわくプラザ担当職員 南河原小わくわくプラザ 高田恵子 夢見ヶ崎小わくわくプラザ 岡田美恵子 小倉小わくわくプラザ 坪井克枝、 東小倉小わくわくプラザ 武田枝里 日吉小わくわくプラザ 野村志保	臨 時 職 員	15 人	各わくわくプラザ室
中原区 第 1 G	合 同 野 外 活 動 事 業 事 前 研 修	小杉こども文化センター 館長 谷本 真由美 新丸子こども文化センター 館長 木村 友也	主 任 員 職 員	4 人	新丸子こども文化セン ター

実施単位	研 修 名	講 師	対 象	参 加 数	開 催 場 所
中原区 第 1 G ～ 4 G	上手な感情マネジメントでしっかり伝わるコミュニケーション研修	感情マネジメントコンサルタント 心理カウンセラー 加藤 惺映子氏	館主 長 職 任 臨時 員 職 員	122 人	中原市民館 多目的ホール
中原区 第 1 G ～ 4 G	中原区 市民救命士養成講習	公益財団法人 川崎市消防防災指導公社	職 員 臨時 員	29 人	大戸こども文化センター
中原区 第 1 G ～ 4 G	中原区 市民救命士養成講習	公益財団法人 川崎市消防防災指導公社	館主 長 職 任 臨時 員 職 員	25 人	平間こども文化センター
中原区 第 1 G	合同野外活動事業 事前研修	小杉こども文化センター 館長 谷本 真由美 新丸子こども文化センター 館長 木村 友也	主 任 職 員	4 人	新丸子こども文化センター
中原区 第 1 G	合同事業事前研修(ボ ッチャ大会審判研修)	新丸子こども文化センター 職員 平岩 卓三	主 任 職 員	6 人	小杉こども文化センター
中原区 第 2 G	集団レクリエーション	井田こども文化センター 職員 牛来 哲子	主 任 職 員	12 人	井田こども文化センター
中原区 第 3 G	中高生対応研修	平間こども文化センター 館長 川野 佳秀	館主 長 職 任 臨時 員 職 員	32 人	平間こども文化センター
中原区 第 4 G	S D G s について	特定非常利活動法人 かわさきスポーツドリーマーズ 小泉 英夫 氏	館主 長 職 任 臨時 員 職 員	41 人	宮内こども文化センター
高津区 第 1 G ～ 3 G	上手な感情マネジメントでしっかり伝わるコミュニケーション	加藤 惺映子氏	館主 長 主 査 職 任 臨時 員 職 員	119 人	川崎市生活文化会館 てくのかわさき
高津区 第 1 G ～ 3 G	けん玉の使い方と メンテナンス研修	子母口こども文化センター 館長 澤井 大輔	館主 長 職 任 臨時 員 職 員	20 人	高津こども文化センター
高津区 第 1 G ～ 3 G	高津区 市民救命士養成講習	公益財団法人 川崎市消防防災指導公社	館主 長 職 任 臨時 員 職 員	27 人	上作延こども文化センター
高津区 第 1 G ～ 3 G	高津区 市民救命士養成講習	公益財団法人 川崎市消防防災指導公社	館主 長 職 任 臨時 員 職 員	29 人	二子こども文化センター
高津区 第 1 G	接遇・クレーム研修	青少年事業課 人材育成係 課長補佐・係長 中村 正信	館主 長 職 任 臨時 員 職 員	36 人	上作延こども文化センター
高津区 第 1 G	野外レクリエーション 研 修	末長こども文化センター 館長 今村 江理子	館主 長 職 任 臨時 員 職 員	3 人	黒川青少年野外活動センター

実施単位	研 修 名	講 師	対 象	参 加 数	開 催 場 所
高 津 区 第 2 G	不 審 者 対 応 研 修	高津警察署 生活安全課地域課 富井 健剛氏 五十嵐 健氏	館 主 職 長 任 員 臨 時 職 員	23 人	二子こども文化センター
高 津 区 第 2 G	ボ ッ チ ャ 研 修	二子こども文化センター 職員 田村 幸子	館 主 職 長 任 員	8 人	東高津こども文化センター
高 津 区 第 3 G	みんなで知ろう！！ 地 域 包 括 ケ ア シ ス テ ム 研 修	地域支援課担当職員 地域ケア推進課 担当職員	館 職 臨 時 職 員 長 任 員	28 人	末長こども文化センター
高 津 区 第 3 G	ボ ー ド ゲ ー ム 研 修	末長こども文化センター 職員 本間 亜紀子 子母口こども文化センター 職員 土屋 勝央 梶ヶ谷こども文化センター 職員 川路 龍馬	館 主 職 臨 時 職 員 長 任 員	41 人	末長こども文化センター
高 津 区 第 3 G	野外レクリエーション 研 修	末長こども文化センター 館長 今村 江理子	館 職 長 任 員	5 人	黒 川 青 少 年 野 外 活 動 セ ン タ ー
宮 前 区 第 1 G ～ 2 G	宮 前 区 市 民 救 命 士 養 成 講 習	公益財団法人 川崎市消防防災指導公社	臨 時 職 員	29 人	宮崎こども文化センター
宮 前 区 第 1 G ～ 2 G	アンガーマネジメント 研 修	株式会社マルシヨン・アンサ ンブル 代表 鈴木 恵枝 氏	館 主 職 臨 時 職 員 長 任 員	81 人	川崎市生活文化会館 てくのかわさき
宮 前 区 第 1 G	野 外 活 動 事 前 研 修	有馬こども文化センター 館長 工 徹	館 主 職 長 任 員	6 人	青 少 年 の 家
宮 前 区 第 1 G	衛 生 管 理 研 修	宮前区役所地域みまもり支 援センター 地域支援課 保健師 中村 久美子氏	館 主 職 臨 時 職 員 長 任 員	52 人	宮崎こども文化センター
宮 前 区 第 2 G	スタッフ（臨時職員） 他 施 設 体 験 研 修	富士見台小学校わくわくプラザ 主任 猪股 居恵 宮前平小学校わくわくプラザ 主任 新村 恵美 土橋小学校わくわくプラザ 主任 岩井 智美 向丘小学校わくわくプラザ 職員 阿部 円香 白幡台小学校わくわくプラザ 職員 山口 彩夏 平小学校わくわくプラザ 職員 木島 昌江	臨 時 職 員	28 人	富士見台小学校わくわく プラザ 宮前平小学校わくわく プラザ 土橋小学校わくわく プラザ 向丘小学校わくわく プラザ 白幡台小学校わくわく プラザ 平小学校わくわく プラザ
多 摩 区 第 1 G ～ 3 G	資 質 向 上 研 修	三ツ木 純子氏	館 職 臨 時 職 員 長 任 員	81 人	多摩区役所 大会議室
多 摩 区 第 1 G ～ 3 G	多 摩 区 市 民 救 命 士 養 成 講 習	公益財団法人 川崎市消防防災指導公社	職 員 臨 時 職 員	19 人	中野島こども文化センター

実施単位	研 修 名	講 師	対 象	参 加 数	開 催 場 所
多摩区 第 1 G ～ 3 G	多 摩 区 市民救命士養成講習	公益財団法人 川崎市消防防災指導公社	職 員 臨 時 職 員	28 人	長尾こども文化センタ ー
多摩区 第 1 G	防 災 研 修	多摩区役所 危機管理担当 ・地域防災 石丸 純一氏	館 主 長 職 任 員 臨 時 職 員	17 人	長尾こども文化センタ ー
多摩区 第 1 G	中 高 生 対 応 研 修 「中高生の居場所 つ く り 」	菅こども文化センター 和田 淳二氏	館 主 長 職 任 員 臨 時 職 員	18 人	長尾こども文化センタ ー
多摩区 第 2 G	ユニバーサルスポーツ研修	錦ヶ丘こども文化センター 主任 太田 明美 三田こども文化センター 職員 渡部 健	館 主 長 職 任 員	9 人	三田こども文化センタ ー
多摩区 第 3 G	工 作 研 修	菅こども文化センター 臨時職員 榎本 利恵 中野島こども文化センター 職員 関口 拓司 南菅こども文化センター 臨時職員 三好 龍太郎	館 主 長 職 任 員 臨 時 職 員	30 人	南菅こども文化センタ ー
多摩区 第 3 G	レクリエーション研修	南菅こども文化センター 職員 星野 恵一	館 主 長 職 任 員 臨 時 職 員	31 人	南菅こども文化センタ ー
麻生区 第 1 G ～ 3 G	麻 生 区 市民救命士養成講習	公益財団法人 川崎市消防防災指導公社	館 主 長 職 任 員 臨 時 職 員	28 人	麻生こども文化センタ ー
麻生区 第 1 G ～ 3 G	麻生支援学校見学研修	神奈川県立麻生支援学校 統括教諭 宮澤直子氏	館 主 長 職 任 員 臨 時 職 員	63 人	神奈川県立麻生支援学校
麻生区 第 1 G	他 施 設 見 学 研 修	百合丘小学校わくわくプラザ 主任 小林 淑江	臨 時 職 員	4 人	百合丘小学校わくわくプ ラザ
麻生区 第 1 G	他 施 設 見 学 研 修	西生田小学校わくわくプラザ 主任 高見澤 悠太	臨 時 職 員	5 人	西生田小学校わくわくプ ラザ
麻生区 第 1 G	他 施 設 見 学 研 修	長沢小学校わくわくプラザ 職員 中川 尚樹	臨 時 職 員	4 人	長沢小学校わくわくプラ ザ
麻生区 第 1 G	他 施 設 見 学 研 修	南百合丘小学校わくわくプラザ 職員 小林 佳世	臨 時 職 員	3 人	南 百 合 丘 小 学 校 わ く わ く プ ラ ザ
麻生区 第 1 G	他 施 設 見 学 研 修	金程小学校わくわくプラザ 職員 由利 睦実	臨 時 職 員	2 人	金程小学校わくわくプ ラ
麻生区 第 1 G	他 施 設 見 学 研 修	千代ヶ丘小学校わくわくプラザ 主任 高木 静香	臨 時 職 員	2 人	千 代 ヶ 丘 小 学 校 わ く わ く プ ラ ザ

実施単位	研 修 名	講 師	対 象	参加数	開 催 場 所
麻生区 第2G	他施設体験研修	二子こども文化センター 久本小わくわくプラザ担当 主任 今井 百合	主 任 員 職 臨 時 職 員	19人	久本小学校わくわくプラザ
麻生区 第2G	合同事業事前研修	王禅寺こども文化センター 館長 掛田 隆 虹ヶ丘こども文化センター 館長 小牧 輝代子 柿生こども文化センター 館長 大友 三郎	主 任 員 職 臨 時 職 員	8人	王禅寺こども文化センター
麻生区 第3G	モ ル ッ ク 研 修	白山こども文化センター 館長 中川路 ふみ子	館 長 任 員 主 職 臨 時 職 員	7人	麻生こども文化センター
麻生区 第3G	野外活動事前研修	白山こども文化センター 館長 中川路 ふみ子	館 長 任 員 主 職 臨 時 職 員	6人	白山こども文化センター

③川崎市主催研修

研 修 名	講 師	対 象	参加数 (内わくわく)	開 催 場 所 (オンライン会場)
第1回 特別な配慮が必要な児童とその保護者への理解と支援	発達障害を手がかりとしたユニバーサルデザインコンサルタント 橋口 亜希子氏	館 長 任 員 主 職 臨 時 職 員	189人 (124)	生涯学習プラザ (各こども文化センター)
第2回 児 童 虐 待	川 崎 市 中 部 児 童 相 談 所 相談支援 第4係長 岡崎 秋香氏	館 長 任 員 主 職 臨 時 職 員	165人 (97)	生涯学習プラザ (各こども文化センター)
第3回 L G B T Q	LGBTユースの居場所に にじーず代表 遠藤 まめた氏	館 長 任 員 主 職 臨 時 職 員	184人 (128)	生涯学習プラザ (各こども文化センター)
第4回 特別な配慮が必要な児童への関わり方	川崎市発達相談支援センター 所長 阿佐野 智昭氏	館 長 任 員 主 職 臨 時 職 員	219人 (154)	生涯学習プラザ (各こども文化センター)
第5回 アンガーマネジメントによる感情の理解	日本アンガーマネジメント協会公認講師 株式会社マルジョン・アンサンブル 鈴木 恵枝氏	館 長 任 員 主 職 臨 時 職 員	229人 (181)	生涯学習プラザ (各こども文化センター)
第6回 学校や地域との連携	日本女子大学名誉教授 川崎市教育委員 田中 雅文氏	館 長 任 員 主 職 臨 時 職 員	136人 (98)	生涯学習プラザ (各こども文化センター)

研 修 名	講 師	対 象	参加数 (内わい)	開 催 場 所 (オンライン会場)
第 7 回 地域施設や組織の理解と 連携の工夫（事例研修・ グループワーク）	日本スクールソーシャルワーク協会 代表 入海 英里子氏	館 長 主 任 職 員 臨時職員	37 人 (0)	生涯学習プラザ
第 8 回 いじめの理解と対応	認定 NPO 法人エンパワメントかながわ 理事長 阿部 真紀氏	館 長 主 任 職 員 臨時職員	172 人 (123)	生涯学習プラザ (各こども文化センター)
第 9 回 外国につながる子どもの 支援	川崎市教育委員会事務局教育政策室 指導主事 根田 もゆる氏	館 長 主 任 職 員 臨時職員	97 人 (53)	生涯学習プラザ (各こども文化センター)
第 10 回 通信、便りの工夫	デザイナー 服部 ゆう子氏	館 長 主 任 職 員 臨時職員	90 人 (56)	生涯学習プラザ (各こども文化センター)
第 11 回 感染症等の予防及び まん延の防止	川崎市立犬蔵中学校 校長 田中 理恵氏	館 長 主 任 職 員 臨時職員	89 人 (54)	生涯学習プラザ (各こども文化センター)
第 12 回 子どもの権利	川崎市教育委員会事務局教育政策室 指導主事 北所 邦美氏 川崎市こども未来局青少年支援室 圓谷 雪絵 氏	館 長 主 任 職 員 臨時職員	74 人 (54)	生涯学習プラザ (各こども文化センター)
第 13 回 室内・室外での遊びや 体験活動を通じた コーチング（2 回開催）	神奈川レクリエーション協会 レク・コーディネーター 田村 武司 氏	館 長 主 査 主 任 職 員 臨時職員	76 人 (0)	生涯学習プラザ
第 14 回 地域施設や組織の理解と 連携の工夫	川崎区地域教育会議 議長 宮越 隆夫氏	館 長 主 任 職 員 臨時職員	34 人 (17)	生涯学習プラザ (各こども文化センター)
第 15 回 保護者・家庭との連携	NPO 法人ふれあいの家－おばちゃんち 代表理事 幾島 博子氏	館 長 主 任 職 員 臨時職員	99 人 (76)	生涯学習プラザ (各こども文化センター)
第 16 回 中高生への関わり方	日本子どもソーシャルワーク協会 理事長 寺出 壽美子氏	館 長 主 任 職 員 臨時職員	57 人 (30)	生涯学習プラザ (各こども文化センター)
第 17 回 地域施設や組織の理解と 連携の工夫（事例研修・グ ループワーク）	日本スクールソーシャルワーク協会 代表 入海 英里子氏	館 長 主 任 職 員 臨時職員	11 人 (0)	生涯学習プラザ

研 修 名	講 師	対 象	参加数 (内わい)	開 催 場 所 (オンライン会場)
第 18 回 保護者・家庭との連携 要望及び苦情への対応マニ ュアルの作成、体制の整備	近未来教育変革研究所 所長 藤井 秀一氏	館主 主査 主職 臨時職員	88 人 (61)	生涯学習プラザ (各こども文化センター)
第 19 回 児童健全育成論	認定 NPO 法人フリースペースたまりば 理事長 西野 博之氏	館主 主査 主職 臨時職員	43 人 (20)	生涯学習プラザ (各こども文化センタ ー)
第 20 回 子どもの育成支援 アレルギー対応 (エビペン実習含む)	川崎市教育委員会事務局 学校教育部健康教育課 指導主事 築部 めぐみ氏	館主 主査 主職 臨時職員	45 人 (0)	生涯学習プラザ

④資格取得研修

研 修 名	講 師	対 象	取得者数	開 催 場 所
児童厚生員等基礎研修会 (児 童 厚 生 2 級)	一般財団法人 児童健全育成推進財団	職 員	11 人	T O C 有 明 Convention Hall
全国中堅児童厚生員等研 修会 (児 童 厚 生 1 級)	一般財団法人 児童健全育成推進財団	館 主 主 査	5 人	秋 葉 原 U D X カンファレンス
神奈川県放課後児童支援 員 認 定 資 格 (6 ・ 9 ・ 1 2 ・ 2 月開催)	(株)東京リーガルマインド	館 主 主 査 主 職 臨時職員	34 人	横浜技能文化会館
衛生推進者養成講習	一般社団法人 安全衛生マネジメント協会	館 主 主 査	3 人	産業貿易センタービル
甲種防火管理者講習会	川崎市消防防災指導公社	館 主 主 査	1 人	かわさき保育会館
甲種防火管理者再講習会	川崎市消防防災指導公社	館 主 主 査	2 人	かわさき保育会館

【別表４】教育実習等の受入状況

①児童館教育実習生の受入状況

依 頼 学 校 名	人 数	実 習 場 所	実習期間
有 明 教 育 芸 術 短 期 大 学	2 人	日 進 町 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	12 日
		浅 田 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	
昭 和 女 子 大 学	1 人	小 杉 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	12 日
草 苑 保 育 専 門 学 校	1 人	南 菅 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	11 日
東 京 家 政 大 学	1 人	旭 町 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	12 日
	1 人	宮 崎 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	12 日

②社会体験研修（教諭）の受け入れ状況

依 頼 学 校 名	人 数	受 入 場 所	受入期間
府中市立府中第五小学校	1人	菅 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2日
神奈川県立麻生支援学校	1人	麻 生 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2日

③小学校・中学校生のまち探検（社会科見学）の受入状況

学 校 名	人 数	受 入 場 所	実 施 日 数
川崎区	旭 町 小 学 校	旭 町 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	宮 前 小 学 校	旭 町 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	川 崎 小 学 校	日 進 町 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	宮 前 小 学 校	渡 田 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	藤 崎 小 学 校	藤 崎 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	殿 町 小 学 校	殿 町 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	浅 田 小 学 校	浅 田 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	小 田 小 学 校	小 田 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
幸区	幸 町 小 学 校	南 河 原 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	南 河 原 小 学 校	南 河 原 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	南 河 原 小 学 校	幸 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	戸 手 小 学 校	幸 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	下 平 間 小 学 校	下 平 間 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	小 倉 小 学 校	小 倉 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	日 吉 小 学 校	北 加 瀬 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
中原区	小 杉 小 学 校	小 杉 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	今 井 小 学 校	小 杉 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	西 丸 子 小 学 校	新 丸 子 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	住 吉 小 学 校	住 吉 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	東 住 吉 小 学 校	住 吉 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	住 吉 小 学 校	住 吉 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	3日
	下 小 田 中 小 学 校	井 田 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	井 田 小 学 校	井 田 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	平 間 小 学 校	平 間 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2日
	下 河 原 小 学 校	平 間 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	効 宿 小 学 校	西 加 瀬 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	新 城 小 学 校	新 城 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2日
	聾 学 校 小 学 校	大 戸 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2日
	大 谷 戸 小 学 校	大 戸 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2日
	宮 内 小 学 校	宮 内 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	中 原 小 学 校	宮 内 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日

高津区	上 作 延 小 学 校	25 人	上 作 延 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	3 日
	東 高 津 小 学 校	14 人	東 高 津 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	末 長 小 学 校	5 人	末 長 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
宮前区	野 川 小 学 校	40 人	野 川 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2 日
	南 野 川 小 学 校	6 人	野 川 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	宮 崎 台 小 学 校	15 人	宮 前 平 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	富 士 見 台 小 学 校	48 人	宮 前 平 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	向 丘 小 学 校	25 人	平 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	3 日
多摩区	東 生 田 小 学 校	124 人	枅 形 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	稲 田 小 学 校	130 人	長 尾 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	宿 河 原 小 学 校	128 人	長 尾 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	稲 田 小 学 校	13 人	長 尾 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	生 田 小 学 校	72 人	錦 ケ 丘 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	南 生 田 小 学 校	150 人	錦 ケ 丘 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2 日
	生 田 小 学 校	7 人	錦 ケ 丘 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	三 田 小 学 校	4 人	三 田 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	菅 小 学 校	123 人	菅 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	東 菅 小 学 校	19 人	菅 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	西 菅 小 学 校	34 人	南 菅 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
麻生区	千 代 ケ 丘 小 学 校	9 人	千 代 ケ 丘 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	王 禅 寺 中 央 小 学 校	8 人	王 禅 寺 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	東 柿 生 小 学 校	30 人	王 禅 寺 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2 日
	王 禅 寺 中 央 小 学 校	6 人	白 山 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	真 福 寺 小 学 校	29 人	白 山 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	麻 生 小 学 校	57 人	麻 生 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2 日

④中学生の職業体験の受入状況

川崎区	富 士 見 中 学 校	1 人	旭 町 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	臨 港 中 学 校	4 人	田 島 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2 日
幸区	南 加 瀬 中 学 校	10 人	幸 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2 日
	南 加 瀬 中 学 校	7 人	南 加 瀬 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2 日
	南 加 瀬 中 学 校	11 人	小 倉 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2 日
	日 吉 中 学 校	2 人	北 加 瀬 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
中原区	西 中 原 中 学 校	10 人	小 杉 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2 日
	中 原 中 学 校	5 人	新 丸 子 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	今 井 中 学 校	6 人	住 吉 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	西 中 原 中 学 校	7 人	住 吉 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2 日
	桐 朋 高 校	2 人	井 田 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2 日
	西 中 原 中 学 校	4 人	井 田 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1 日
	井 田 中 学 校	8 人	井 田 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2 日

(中原区)	洗 足 学 園 中 学 校	2人	平 間 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2日
	英里女子学院高等学校	1人	平 間 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	西 中 原 中 学 校	5人	平 間 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	平 間 中 学 校	4人	平 間 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	西 中 原 中 学 校	3人	玉 川 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	西 中 原 中 学 校	3人	玉 川 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	日 吉 中 学 校	2人	西加瀬こども文化センター	1日
	西 中 原 中 学 校	8人	新 城 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2日
	西 中 原 中 学 校	8人	大 戸 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	2日
	西 中 原 中 学 校	6人	宮内こども文化センター	1日
高津区	西 中 原 中 学 校	6人	上作延こども文化センター	2日
	高 津 中 学 校	6人	高 津 こ ど も 文 化 セ ン タ ー	1日
	東 高 津 中 学 校	4人	二子こども文化センター	1日
	高 津 中 学 校	5人	二子こども文化センター	1日
	東 高 津 中 学 校	4人	東高津こども文化センター	1日
	高 津 中 学 校	6人	東高津こども文化センター	1日
	東 高 津 中 学 校	4人	末長こども文化センター	1日
宮前区	有 馬 中 学 校	2人	有馬こども文化センター	1日
	野 川 中 学 校	4人	野川こども文化センター	2日
多摩区	生 田 中 学 校	8人	枡形こども文化センター	2日
	長 沢 中 学 校	2人	枡形こども文化センター	1日
	生 田 中 学 校	8人	三田こども文化センター	2日
	長 沢 中 学 校	2人	三田こども文化センター	1日
	菅 中 学 校	4人	菅こども文化センター	1日
麻生区	柿 生 中 学 校	8人	柿生こども文化センター	2日

3 法人の運営

2010年に公益財団法人としての認定を受け、その後、効果的な公益目的事業の実施と法人としての役割・機能が発揮できる組織づくりを本部と現場が一体となって取り組みを進めてきました。また、当財団が実施している事業や財務に関して広く市民へ説明する責務を自覚して法人の運営を行いました。

また、民間による社会的課題解決に向けた公益的活動の活性化を促す観点から、新しい時代の公益法人制度の在り方が検討され、収支相償原則の見直し等の改正事項が令和7年4月1日から適用される（改正公益認定法の施行等）見通しであることから、この公益法人の制度改正の内容の情報収集に努めました。

ア 業務・組織改善の取組

法人全体の業務改善に取り組むとともに、事業計画の進捗管理を着実に行之、適切な入札制度等により、コスト削減や効果的な事業の実施等を通じて、経営基盤の強化を図り、組織の総合力向上に努めました。

組織としての一体感の醸成や職員のスキルアップを図るため、各種研修等を実施するとともに、職員の意識改革の促進と人材育成にも取り組みました。

イ 財務業務の適正運営の取組

経理・会計処理では、公益法人会計基準に準拠した会計を的確に行うため、2013年9月1日からP C A公益法人会計ソフトを導入するなど、継続的に、事務を見直すことにより、経費削減に取り組むと共に、各課との連携を図り、円滑な事務処理を行いました。

また、適正な会計処理の継続的な実施に向け、各課に周知徹底を図りながら専門家等のアドバイスを受け、経理事務の改善を推進すると共に、安定した公益財団法人の経営を維持するために適切な財務管理を実施しています。

ウ その他

2022年度の事業報告書等の提出については、関係書類等を作成し監事監査を経て、理事会及び評議員会（定時評議員会）での承認を受け、6月26日に行政庁（神奈川県）へ報告しました。なお、関係書類等については本法人の事務所に備え置くとともに、貸借対照表を公衆の見やすい場所に掲示しました。

2024年度の事業計画書及び収支予算等は、第3回理事会で承認を受け、2024年3月28日に行政庁に提出しました。